

授業科目	小児看護学援助論Ⅰ	開講年次	単位	時間	必修	担当責任者	実務経験	
		2年次	2	45		高氏美奈子	有	
授業概要	健康障害をもつ子どもとその家族が生活・療養するための看護を理解する。							
回数	授業計画・授業内容						授業方法	
1・2	I. 疾病・障害をもつ子どもと家族の看護 疾病・障害が子どもと家族に与える影響 子どもの健康問題と看護						講義	
3	II. 子どもの状況（環境）に特徴づけられる看護 入院中の子どもと家族の看護 外来における子どもと家族の看護							
4～6	III. 子どもにおける疾病の経過と看護 慢性期・急性期・周手術期・終末期							
7	IV. 症状を示す子どもの看護 不きげん、啼泣、痛み、呼吸困難、チアノーゼ、 ショック、発熱、嘔吐、下痢、便秘、脱水、浮腫、 出血、貧血、けいれん、意識障害、発疹、黄疸							
8	V. 主な健康障害と看護 1) 先天異常と看護 2) 新生児の看護・低出生体重児の看護 (保育器の管理を含む)							
9	3) 代謝性疾患と看護(糖尿病) 4) 内分泌疾患と看護 5) 免疫疾患、アレルギー・リウマチ疾患と看護 (気管支喘息、JIA)							
10	6) 感染症と看護(麻疹・風疹・ムンプス・髄膜炎)							
11	7) 呼吸器疾患と看護(肺炎、気管支炎)							
12・13	8) 循環器疾患と看護(先天性心疾患、川崎病)							
14～17	9) 消化器疾患と看護							
18～21	10) 血液造血器疾患と看護 (出血傾向にある子どもの看護) 11) 腎疾患をもつ子どもの看護 (腎炎、ネフローゼ症候群) 12) けいれんのある子どもの看護							
22	VI. 検査・処置を受ける子どもの看護 VII. 在宅療養中の子どもと家族の看護 VIII. 障害のある子どもと家族の看護 IX. 子どものアセスメント ※救急処置 ※災害時の子どもと家族の看護 試験							演習
テキスト	小児看護学1・2／医学書院							
評価方法	筆記試験							
先修条件	基礎看護学9科目を履修							